

話合いの中で考えを深めさせる問い返しの工夫がある道徳授業

- 1 **主題名** 友の幸せを願う **内容項目** B 友情、信頼
- 2 **ねらい** 主人公の親友を思った行動や親友とのすれ違いについて考える学習を通して、友達とのよりよい信頼関係を築くためには相手の思いを尊重する大切さに気づき、より深い友情を構築しようとする態度を育てる。

**教材名** 最後の思い出（出典：「彩の国の道徳『未来に生きる』埼玉県教育委員会」）

3 **主題設定の理由**

(1)ねらいや指導内容について

真の友情は、相互に変わらない信頼があって成り立つものであり、相手に対する敬愛の念がその根底にある。それは、相手の人間的な成長と幸せを願い、互いに励まし合い、高め合う平等で対等な関係である。心からの友情や友情の尊さについて理解を深め、自分を取り囲む友達との友情をより一層大切にすることを育てることが大切である。

中学生の時期は、様々な価値観に触れる中で心から信頼できる友達を得たいという気持ちが高まってくる。これまでの経験で信頼関係が大切であるということは理解しているが、実際に行動に移すことの難しさに直面する時期でもある。信頼関係を築くためには相手の思いを尊重しようとすることや心からの友情や友情の尊さについて考えを深めることで態度を育みたい。

(2)これまでの学習状況及び生徒の実態について

本学級の生徒は、入学後、学校生活や部活動等にも慣れ、日頃から協力しあって生活をしている。しかし、自分本位な考えで行動してしまったり、深く考えずに行動してしまったりするところがあり意図せずに周囲の友達を傷つけてしまうこともある。また、友達と信頼関係を築く上で「友達の立場で考えることの大切さ」は理解していても、特に親しい関係においては、つい自己中心的な行動をとってしまいがちである。


体育祭の練習では、協力して取り組んでいた一方、その方法等で言い合いになることもあった。そのような場面では、友達の悪い面にばかりに目が行きがちだが、それぞれが自分の考えをもって行動していることについて話合いを重ね、励まし合い、高め合ってきた。それらのことにより、友達を尊重したり、友達の思いに心を寄せたりすることができる生徒が増えてきたが、自分の考えに固執してしまい、周囲の考えに気付かない生徒も少なくない。

そこで、友達とのよりよい信頼関係を築くためには、友達の立場に立って物事を考えることが大切であると気づき、相手や周囲の思いに配慮した行動をとろうとする態度を育てたい。

(3)教材の特質や活用方法について

主人公の真奈は中学1年生で、ある日親友の潤子から2週間後に引っ越すことを打ち明けられる。それを受けて友人の智美、結花とともに、サプライズで潤子との最後の思い出を作るために3人だけのSNSグループを作成し準備を始めるが、準備が進むにつれ潤子との距離が離れていってしまう。そんな中、潤子の引っ越しの日にちが早まったことを潤子から告げられ、真奈はこれまでの行動を後悔する。



		<p>と他の2人は友人であるという関係性について押さえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材データを生徒の1人1台端末に送付する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">教材提示の工夫 (ICT の活用)</div> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>範読前に相関図を確認し、登場人物の関係性をイメージできるようにした。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>教材をPDFで配布し、読みやすいよう、各自で大きさ等を調整できるようにした。</p> </div> </div> </div> </div>		
<p>(1) 潤子が転校することを真奈だけに直接伝えたのはなぜだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大切なことは直接伝えると約束しているから。</li> <li>親友の真奈にはどうしても直接伝えたかったから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SNSを使って友情を育むことができるが、潤子が友情を深めるためには直接伝えることのよさを大切にしていることを押さえる。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">考えを広げたり深めたりする発問</div> <p>T：潤子は真奈だけに直接転校のことを伝えていますがね。なぜ、智美と結花にはSNSで伝えて、真奈には直接伝えたのだと思いますか。</p> <p>S：潤子が親友だから。</p> <p>T：<u>親友だと直接伝えるのですか。</u></p> <p>S：直接の方が自分の気持ちが伝わりやすいから。</p> <p>T：<u>どうして、そう思うのですか。</u></p> <p>S：直接会うと、顔が見えて相手が何を考えているか分かりやすいからです。</p> <p>T：<u>でも直接だと、辛さありませんか。</u></p> <p>S：辛くても、親友だったらちゃんと、直接伝えるのが優しさだと思います。</p> <p>T：そうですか。潤子は直接伝えることで、伝わる気持ちがあると思ったのですね。</p> </div>		
<p>(2) 潤子から「さみしい」とメッセージが届いたとき、真奈はどんなことを考えたのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>潤子に悲しい思いをさせてしまった。</li> <li>智美は分かってくれてよかったが、結花が怒ってしまってどうしたらいいか分からない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いがうまく伝わらないことについて考えさせるために、迷いが出ている真奈について考えさせる。</li> <li>グループ→全体の順で話し合い、これらの話し合いを通して個人の考えを深められるようにする。</li> </ul>

・真奈は引っ越してしまいうけど、智美と結花はこれからも一緒に過ごすから、2人のことも裏切れない。



☆潤子から「さみしい。」とメッセージが届いたときの真奈の思いを、智美と結花の存在も踏まえつつ、多面的・多角的に考え、自分の考えを深めている。

「規律ある態度」の育成

【話を聞き発表する】

・グループの話合いを通して、友達の発表をしっかりと聞き、自分の考えを伝えることができるようにする。

### 多面的・多角的に考えを深める 問い返しの工夫

T：潤子から「さみしい」とメッセージが届いたとき、真奈はどんなことを考えましたか。

S：ごめんね。そういうつもりじゃなかったのだけれど。

T：「そういうつもりじゃなかった」というのはどんな思いですか。 … (略)

S：でも、伝えたらサプライズじゃなくなっちゃうよ。

S：お別れ会ができれば、サプライズじゃなくてもいいのではないかな。

T：サプライズの準備は真奈が一人でしている訳ではないですね。

S：確かに。じゃあ、智美と結花にも伝えなきゃいけないのか。

T：そうしたら、智美と結花には、どんな風に伝えますか。

S：2人は怒りそうだから、伝えない方がいいかも。

S：それに伝えずに驚かせるのがサプライズの良いところなのだから、やっぱり伝えない方が潤子も嬉しいと思う。

(3) 真奈が本当に話したいことは何だったのだろうか。  
〈中心的な発問〉

数名に発言を促した後、自分の考えを整理しながら記入し、自分の考えを明確にできるように工夫した。

### 自分の考えを整理するための書く活動

- ・最近そっけないのは、本当はサプライズをやろうとしていたのだよ。だけど、やっぱり潤子が喜ばば何でもいいから、今日から4人で遊んで思い出を作ろう。
- ・智美と結花のことなのだけれど、実は潤子のこと喜ばせたくて、3人でいろいろ作業していたんだ。さみしい思いをさせてごめんね。
- ・今まで、潤子には内緒にしていたのだけれど、本当は潤子のためにサプライズを考えていたの。サプライズのために、潤子とかかわる時間を削っちゃってごめんね。

### 導入を振り返り、話し合いを深める工夫

T：最初のアンケートでは、自分にプラスがあるのが友達だという意見もありましたね。潤子が転校したあと、一緒に過ごすのは智美と結花ですが、2人を怒らせる可能性があっても、潤子に伝えたいと思ったのはどうしてですか？

S：やっぱり、潤子は親友だから。智美と結花には悪いけど、2人とは大切さが違うし、もう少しで転校しちゃうから、今、大事なのはやっぱり潤子の方だと思う。

T：では、潤子の方が智美と結花より大切だから、潤子に伝えるのですか？

S：そうです。でも、それもあるけど、両方とも大事。そもそも、潤子のためのサプライズだから、潤子が喜んでくれなきゃ意味がないと思います。だから、今1番大事な潤子の気持ちだと思います。

—ここで、多くの生徒がうなずく—

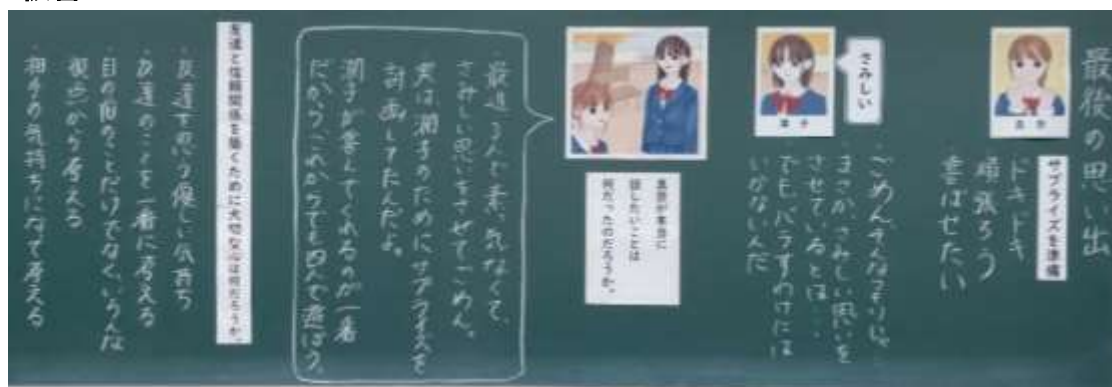
<p>(4) 友達と信頼関係を築くために大切な心は何だろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本当は潤子のことを思ってサプライズを用意していたの。</li> <li>・傷つけてごめんね。</li> <li>・潤子が本当に望んでいることが分からなくてごめんね。</li> <li>・相手だったらどう考えるかを考えられる心。</li> <li>・優しく厳しい心。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いと親友の思いのすれ違いに悩む真奈について考えさせるために、後悔している真奈について考えさせる。</li> <li>・潤子は最後まで真奈と正直に向き合おうとしていることに目を向けさせる。</li> <li>・導入のアンケートに戻り、自分に利益をもたらすから友達なのかをもう一度考えさせる。</li> <li>☆友達と信頼関係を築くことについて、日頃の自分と周囲の人間関係を想起しながら、自分との関わりで考えている。</li> </ul>
-------------------------------------	---	--

### 「自己を見つめる」ための書く活動

- ・友達を思う優しい気持ちが大切だと思います。自分が相手に優しくしないと、相手も優しくしないと、まずは、仲良しになって、そこから「信頼」を築いていくと思います。
- ・一番大切なものをちゃんと理解する。友達のことを思うことを忘れない。
- ・どうすれば信頼できる関係を築けるのかを考える。私は、目の前のことだけだと、周りのものを見失ってしまうから、いろんな視点から考えるようにしている。そうしたら何でも言い合える友達関係をつくることができた。
- ・相手の立場になって気持ちを考える。自分は、信頼をしていい相手だと思えた瞬間を大切にしている。相手をそう思えた自分がいると思うから。それを忘れないようにしたい。

終末	4 教師の説話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のことを思っでの行動を取り上げ、生徒が心にそっと決意できるように話をする。</li> <li>・アンケート結果に触れ、友達を思う心について取り上げることで、生徒の自己肯定感を高められるようにする。</li> </ul>
	<p>持久走大会で最後を走っていた友達のAさん。先に走り終わった私はその友達を迎えに行っで最後のところを一緒に走ろうか悩んでいた。もしも迎えに行っで一緒に走ったら余計に目立ってしまう。嫌な気持ちにさせてしまうかもしれない。どうしたらよいか悩んだ。…一緒に走ってくれたAさんは日記に「嬉しかった。」「感動した。」と記入してきてくれたと後で先生から聞いた。私の友達を思う気持ちが伝わったのかな。</p>	

## 5 板書



## 6 他の教育活動との関連

事前指導	学活で「友達がいよかったと思う場面」についてアンケートを取り、生徒の実態を把握する。
事後指導	道徳通信で他クラスの生徒の考えも紹介し、考えを広げられるようにする。
学校行事	体育祭、合唱祭、校外学習等を通して、友達の気持ちを考えて行動できるようにする。
各教科等	授業の態度や発表の聞き方、伝え方なども友達関係に影響することを実感できるようにする。
家庭との連携	道徳通信で教材の概要と生徒の感想を紹介し、家庭でも話題にできるようにする。

## 7 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・潤子から「さみしい。」とメッセージが届いたときの真奈の思いを、多面的・多角的に考え、自分の考えを深めている。

【道徳的価値についての理解を自分とのかかわりで深めている様子】

- ・友達と信頼関係を築くことについて、自分とのかかわりで考えている。